

審議会等の会議の概要の記録

会 議 の 名 称	令和 8 年度第 1 回 甲州市高齢者虐待防止・地域見守りネットワーク 運営委員会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 31 日(金) 13 時 30 分～15 時 00 分
開 催 場 所	甲州市役所 地下 1 階 地下第一会議室
議 題	(1) 本委員会および部会の説明 (2) 認知症施策推進計画の策定について (3) 地域課題と令和 7 年度実績及び令和 8 年度取り組みについて ・認知症施策の推進 ・虐待防止対策・権利擁護の推進
出 席 委 員	丸田一穂委員、宮原健一委員、筒井好澄委員、小林潤哉委員、廣瀬直樹委員、矢崎聡委員、大木美由喜委員、久保田正春委員、木下洋和委員、志村智大委員、大澤伸委員、和田功委員、吉田省吾委員、名取建治委員
会議の公開又は 非公開の区分	公開
会議を一部公開 又は非公開とし た場合の理由	
傍 聴 人 の 数	0 人
審 議 概 要	別紙のとおり
事務局に係る事項	介護支援課 高齢者支援担当 TEL:0553-34-5434
そ の 他	※ 上記以外で審議会等が必要と認める事項

令和 8 年度第 1 回

甲州市高齢者虐待防止・地域見守りネットワーク運営委員会

日時 令和 8 年 7 月 31 日(金)午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

場所 本庁地下第一会議室

出席 丸田・宮原・筒井・小林・廣瀬・矢崎・大木
久保田・木下・志村・大澤・和田・吉田・名取【委員】
介護支援課 早川・横瀬・小泉・末木・内田【事務局】
地域包括支援センター 中村・鈴木・丸田

1.開 会

2.委嘱状の交付

3.市長あいさつ

先程、皆様には委嘱状を交付したところであるが、本委員会の設置目的である「権利擁護及び認知症施策に関する課題を解決する」ため、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

高齢者虐待の背景には様々な要因があるが、経済的困窮や介護疲れから始まってしまう場合が多くみられると認識している。また、認知症の方は、物忘れや被害妄想など様々な症状があり、介護者への負担が大きく虐待につながりやすい状況にある。

本市における高齢化率は県内でも高い水準にあることから、認知症高齢者への理解と支援は欠かすことができない。市としても、介護する家族が、個々で抱え込んでしまわないよう、さまざまな公的事業や関係機関との連携を図り、支援体制の強化を図っていく。

本運営委員会においては、高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者虐待防止のための取り組みと併せて、認知症の方を地域で見守るためのネットワークづくり等について、ご意見をいただければと重ねてお願い申し上げます。

4.委員紹介(自己紹介)

5.委員長あいさつ

甲州市においても高齢化率が年齢上がっており昨年度 38%を超えているという状況である。

先日も新聞報道において、介護を受ける人、世話をする人がともに 75 歳以上の割合が全国で 37%を超えたということ老老介護の課題が深刻化しており、高齢者を取り巻く環境は年々厳しいものとなっている。本日は、それぞれの立場で意見をお伺いできればと思う。

6.議題

(1)本委員会および部会の説明

(2)認知症施策推進計画の策定について

(3)地域課題と令和 7 年度実績及び令和 8 年度取り組みについて

- ・認知症施策の推進
- ・虐待防止対策・権利擁護の推進

○認知症初期集中支援チームについて

委員)

認知症初期集中支援チームについてお聞きしたい。訪問するまでの経過があると思うがスムーズに進められたのかどうか差し障りなければお聞きしたい。

事務局)

今までの全体の傾向だと最初はなかなか受け入れが難しかった方も、6 ヶ月間支援を継続してチームで訪問を定期的に行い徐々に信頼関係を築きながら受診を勧めて専門医につないでいる。また、状況を把握しながら、認知症初期チーム員の先生方にも相談を定期的にさせていただき助言をいただいている。

○わたしの想いノート(以下、想いノート)について

委員)

以前、想いノートを記入していただくのが難しいといった意見が委員の中から何件か出たことがある。今は書いていただきたい方に渡すと受け取っていただけるのか、想いノートの記入に関して理解が進んでいるのかお聞きしたい。

事務局)

想いノートは窓口に置かせてもらっているが、以前と比べると手に取って持ち帰ってくれる方は増えていると感じている。イベント等で周知し配布をしたときにも受け取っていただけており、以前よりも周知は進んでいると感じる。ただ受け取っていただいた後にどこまで具体的に書いていただき、活用されているかがわからないことが課題としてはある。昨年度秋頃から書き方がわからないという方向けの相談窓口も設置した。窓口の周知はまだ足りないと考えている。病院でもご協力をいただけており、外来においてくださっており持ち帰る方も多いと聞く。しかし持ち帰った方がどれだけ活用をいただいているかというのはもう少し把握したいところではある。

委員)

以前、想いノートが役に立ったということを他の委員からお聞きした。ただ、プライベートのことでもあるし、想いノートに関して課題は尽きないと思っている。

7. その他

○委員から詐欺対策のアプリについて情報提供あり

委員)

高齢者の犯罪防止として特殊詐欺対策アプリがある。QR コードを読み取っていただいてアプリをダウンロードしていただくと、国際電話をブロックしたり、警察庁で把握している特殊詐欺の電話番号をブロックしたりすることができる。

委員)

特殊詐欺対策のアプリの使い方を高齢者にどのように伝えればいいのかというのは課題だと思う。アプリの説明会とかはあるのか。広く高齢者に説明をする場があったとしたら、そこで例えば先ほどの想いノートも一緒に紹介するのも良いのではないかな。

事務局)

市でも様々な取り組みを検討していく中で関係機関と連携できたらと思う。よろしくお願いいたします。

8.閉会(副委員長)

少子高齢化と核家族化が進み地域社会の繋がりが低下する中、虐待などの社会問題は複雑多様化していると思われる。このような状況の中で高齢者福祉の充実がますます重要となってくる。この運営委員会の議論、連携を一層深め、更なる高齢者福祉の充実を図っていければと思う。